

小諸市事業シート（概要説明書）				整理番号	8
事業名	こもろ市民まつり				
担当部名	経済部	担当課名	商工観光課	作成責任者	山下 厚子
事業実施年度	昭和48年度				
根拠法令	なし				
実施方法 (該当するものすべてにチェック)	直接実施				
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)				
	補助金〔(直接) 間接〕(補助先: こもろ市民まつり実行委員会 実施主体: 同左)				
	貸付(貸付先:) その他()				
事業概要					
目的 (何のために)	区・団体等の行事の受皿となり地域づくりを支援する。 市民及び小諸市周辺住民の楽しみの場の提供。				
対象 (誰を対象に)	小諸市内の区及び団体 小諸市民及び小諸市周辺住民				
事業内容 (手段、手法など)	<p>7月に大人みこし、子どもみこしが市の中心市街地を練り歩く「市民まつり・みこし」を、8月に「小諸ドカンショ」を踊る「市民まつり・ドカンショ」を開催。 実施団体：市・市議会・商工会議所・観光協会・区長会・交通安全協会・佐久浅間農業協同組合・大浅間火煙太鼓保存会 開催協力：小諸警察署 大会開催負担金負担団体：市・商工会議所・観光協会・安全協会・佐久浅間農業協同組合 実行委員会開催決算額(支出)の推移：18【5,979,823円】19【5,844,087円】20【5,725,484円】21【5,581,749円】</p> <p>事業概要(主な内容を抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月：総務委員会(組織体制・予算・コース・交通規制などの検討) ・5月：実施関係団体会議(組織体制・決算・予算・実施概要などの検討) ・5月～7月：各委員会毎に準備作業(会議の開催・具体的準備作業の実施) ・当日：まつりの実施・運営 ・9月：参加団体アンケート ・10月：総務委員会(反省・来年度変更内容等の協議) 				
事業の必要性	<p>・それぞれの参加団体で、まつりに参加するための組織・予算編成を行い、毎年参加する行事として位置づけられている。</p> <p>・市の夏まつりとして38回を数え、参加者・観客ともに楽しむ場として定着している。</p>				
コスト	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (予算額)	
決算額(千円)A	4,500	4,300	4,100	4,085	
内一般財源(千円)	4,500	4,300	4,100	予算額の財源内訳 (千円)	
人件費 (千円)	担当職員(人)B	0.40	0.40	0.40	国庫支出金 千円
	担当職員経費 C = B * 平均人件費	2,935	2,935	2,935	地方債 千円
	当日勤務職員 (人)	164	165	145	その他 千円
	当日勤務職員経費 (千円)D	3,333	3,368	2,937	一般財源 4,085千円
事業費計(千円) E = A + C + D	10,768	10,603	9,972	補助事業名	
平成21年度 決算額内訳	<p>(実行委員会支出) 5,582千円 (実行委員会収入) 6,424千円</p> <p>総務・みこし費(保険・広告・参加費等) 1,986千円 負担金(市負担金4,100) 5,080千円</p> <p>設営・交通費(工事・看板・交通整理委託等) 1,380千円 露店出店料 249千円</p> <p>接待・太鼓費(当日スタッフ飲食・太鼓ステージ) 409千円 うちわスポンサー料 570千円</p> <p>ドカンショ費(参加費・うちわ代・広告等) 1,807千円 雑収入・前年度繰越金 525千円</p>				

事業実績	項 目	単位	H19年度	H20年度	H21年度																														
	連参加人数（19年度は子ども神輿/中止）	人	4,600	7,000	6,600																														
	人出	人	67,000	95,000	68,000																														
単位当たりコスト (事業費/事業実績)	項 目	単位	H19年度	H20年度	H21年度																														
	連参加人数（19年度は子ども神輿/中止）	円	2,341	1,515	1,511																														
	人出	円	161	112	147																														
成果目標 (現状の成果及び今後 どのようにしたいか、 定量的な評価で示す)	<p>【現状の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加団体、参加者数については、年度によって多少の増減があるものの、天候により子どもみこしを中止した年度以外は、6千人~7千人と一定の規模を維持している。 ドカンショの参加団体は、区や事業所組織に限定されず、学校のクラスやスポーツ少年団、社会福祉施設など多様な団体が参加している。 ドカンショの際、手ぬぐいを作成し参加者に配布していたものを、21年度より「くじ付きうちわ」に変更し、抽選会を実施し、観客等のまつりへの参加機会を提供している。 <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加団体数及び参加者の増：目標【参加者 7,000人】 今後、経費負担の増が見込まれる。（警察より警備員の配置要請がある。） 経費の増が最小限となるよう経費を見直す：目標【実行委員会支出 5,600千円】 																																		
自己評価 (今後の事業の方向 性、課題等)	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ドカンショについては、18年度までは、小諸青年会議所、19年度は商工会議所青年部、20年度からは、商工会議所の小諸復活プロジェクト委員会が、企画運営を行っている。市としては、設営・交通規制を担当。来年度以降の企画運営について、市としては引き続き商工会議所の同委員会での開催を依頼しているが、今後の協議事項である。 運営については、毎年度、参加団体代表者会議及びアンケートにより、参加者及びスタッフの意見を集約し、実行委員会総務委員会において、事業の見直しを検討・実施している。みこしについては、コースの変更（特に短縮）等の要望が寄せられているが、地元区との調整がつかず、短縮できない状況が続いている。 みこしについては、まつり当日の運営を担う市職員数が増える傾向にある。18年度、みこしの練りが終了せず、時間内に交通規制の解除ができなかったことによるみこし委員の増員、また、安全対策のため交通規制にあたり危険箇所等の配置を見直し・検討した結果の増員等が要因であるが、今後、参加団体等選出の運営委員による主体的な運営方法等を提案、検討していきたい。 																																		
比較参考値 (他自治体での類似事 業の例など)	<p>まつりの補助金額により比較。人件費は含まない。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>市 名</th> <th>補助金額</th> <th>参加者数</th> <th>補助額/参加者数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>佐久市</td> <td>18,931 千円</td> <td>数値なし 人</td> <td>円</td> <td>佐久鯉まつり・小満祭・よいやさ・どんどん・榊祭り・塩名田宿場祭</td> </tr> <tr> <td>上田市</td> <td>4,900 千円</td> <td>10,000 人</td> <td>490 円</td> <td>上田わっしょい（踊りとだし）</td> </tr> <tr> <td>東御市</td> <td>4,800 千円</td> <td>4,300 人</td> <td>1,116 円</td> <td>市民夏祭り（ステージ・子ども相撲・運動会リレー・踊り）</td> </tr> <tr> <td>中野市</td> <td>3,200 千円</td> <td>4,400 人</td> <td>727 円</td> <td>しよんしよん祭（踊り）</td> </tr> <tr> <td>小諸市</td> <td>4,085 千円</td> <td>6,800 人</td> <td>601 円</td> <td>みこし・踊り</td> </tr> </tbody> </table>					市 名	補助金額	参加者数	補助額/参加者数	備 考	佐久市	18,931 千円	数値なし 人	円	佐久鯉まつり・小満祭・よいやさ・どんどん・榊祭り・塩名田宿場祭	上田市	4,900 千円	10,000 人	490 円	上田わっしょい（踊りとだし）	東御市	4,800 千円	4,300 人	1,116 円	市民夏祭り（ステージ・子ども相撲・運動会リレー・踊り）	中野市	3,200 千円	4,400 人	727 円	しよんしよん祭（踊り）	小諸市	4,085 千円	6,800 人	601 円	みこし・踊り
市 名	補助金額	参加者数	補助額/参加者数	備 考																															
佐久市	18,931 千円	数値なし 人	円	佐久鯉まつり・小満祭・よいやさ・どんどん・榊祭り・塩名田宿場祭																															
上田市	4,900 千円	10,000 人	490 円	上田わっしょい（踊りとだし）																															
東御市	4,800 千円	4,300 人	1,116 円	市民夏祭り（ステージ・子ども相撲・運動会リレー・踊り）																															
中野市	3,200 千円	4,400 人	727 円	しよんしよん祭（踊り）																															
小諸市	4,085 千円	6,800 人	601 円	みこし・踊り																															
特記事項 (事業の沿革等)	<p>昭和48年、市民こぞって参加する「まつり」として「こもろどっこい」の名称で初開催。昭和50年より「市民まつり・小諸ぎおん祭」を7月、「市民まつり・民謡流し」を8月お盆に開催し「小諸ドカンショ」を制作。昭和52年より、「民謡流し」を「小諸ドカンショ」と名称変更し、現在のスタイルの市民まつりとなる。</p>																																		